

第5回 町田市スポーツ推進審議会  
議事要旨

日 時 2019年3月8日(金) 18:30~20:30

場 所 町田市役所10階 10-2会議室

出席者

川崎 登志喜	委員(会長)	玉川大学教育学部	教授
宮崎 光次	委員	桜美林大学健康福祉学群	群長教授
永吉 英記	委員(職務代理)	国士舘大学体育学部	准教授
岡田 栄	委員	町田市スポーツ推進	委員
佐藤 正志	委員	町田商工会議所	専務理事
北川 達三	委員	社会福祉法人賛育会第二清風園	施設長
坂井 早苗	委員	市民委員	
三村 徹	委員	市民委員	
大川 武司	委員	南中学校	校長

欠席者

山本 正実	委員	一般財団法人 町田市体育協会	理事長
水野 洋子	委員	NPO 法人スポーツ塾 J. VIC	代表

事務局

文化スポーツ振興部長 能條 敏明  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課長 石田 一太郎  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当課長 伊奈 誠  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 喜多 和則  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課担当係長 鈴木 朝子  
文化スポーツ振興部スポーツ振興課主事 阿部 正宏

傍聴者 なし

## 議事

1. 開会
2. 議事
  - (1) 2018 年度スポーツ推進計画進捗状況について
  - (2) 2018 年度市民意識調査アンケート実施報告について
  - (3) 町田市スポーツ推進計画 5 カ年の振り返りについて
  - (4) パブリックコメントの実施報告について
  - (5) 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン（案）について
3. 事務局から
4. 閉会

## 配布資料

- 第 4 回スポーツ推進審議会 議事要旨
- 町田市スポーツ推進計画 19-28（案）
- 町田市スポーツ推進計画 19-28 概要版
- 資料 1-1 町田市スポーツ推進計画 2018 年度進捗状況
- 資料 1-2 町田市スポーツ推進計画 2018 年度進捗状況（各施策の詳細）
- 資料 2 町田市スポーツに関する市民意識調査アンケート報告書
- 資料 3-1 町田市スポーツ推進計画の 5 カ年の振り返りについて
- 資料 3-2 町田市スポーツ推進計画の 5 カ年の振り返りについて（各施策の詳細）
- 資料 4 パブリックコメントに提出された意見と市の考え方
- 資料 5 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン（案）
- 参考 目標値の達成状況の考え方議事要旨

### 1. 開会

事務局からあいさつが行われた。

### 2. 議事

#### (1) 2018 年度スポーツ推進計画進捗状況について

事務局が資料 1-1、1-2 について説明を行った。

岡田委員 総合型地域スポーツクラブを 20 クラブにするという目標があったが、今後はどのように考えているのか。市内 10 地区、または、中学校区で設置していくのか。

事務局 中学校区に 1 クラブ設立を目標としていたが、現計画策定後半径 2 km 圏内に 1 クラブ、計 10 クラブ設立に目標を転換している。

#### (2) 2018 年度市民意識調査アンケート実施報告について

事務局が資料 2 について説明を行った。

川崎会長 アンケート報告書はいつ、どのように公表するのか。このボリュームで公表するのか。

事務局 このボリュームで、今後ホームページ上で公表する。時期は検討中である。

#### (3) 町田市スポーツ推進計画 5 カ年の振り返りについて

事務局が資料3-1、3-2について説明を行った。

三村委員 現行計画で「公共スポーツ施設のユニバーサルデザイン化」とあったが、どのような取組を行ってきたのか。

事務局 現行計画の策定当時は施設のバリアフリー化などの対応を行っていた。近年は施設内のサインやトイレの改修など時代に即した対応も求められてきている。詳細の取組はアクションプランで記載している。

佐藤委員 資料3-2で実施主体が指定管理者となっている教室等は有料の事業なのか。

事務局 有料の教室が中心となっている。

佐藤委員 資料3-2のP.10に大学と連携した事業があるが、法政大学との取組である「法政スポーツ教室事業」の指標は延べ参加人数となっており、東京家政学院大学との取組である「東京家政学院大学テニスコート開放事業」の指標は年間利用率となっている。後者も人数を指標としてはどうか。

川崎会長 それぞれ考え方が異なるということか。

事務局 「法政スポーツ教室事業」は市の広報紙等で全市から参加者を募っていることから、延べ参加者数を指標としている。「東京家政学院大学テニスコート開放事業」は相原町、小山町、小山ヶ丘の3地区において利用登録を行った団体に対して大学が使用しない日時に施設の無料開放を行っているもので、どの程度活用できているかをはかるために稼働率を指標としている。

佐藤委員 平日も利用可能なのか。

事務局 土曜日と日曜日のうち大学が使用しない時間に限り無料開放している。

佐藤委員 無料であればもっと利用されそうな気がする。

川崎会長 利用登録が可能な地域を広げると稼働率が上がるのではないか。

事務局 稼働率をあげるために、第4希望まで確認して調整を行った結果、このような状況となっている。大学と市の協定に基づき対象範囲を設定していることもあり、稼働率向上に向けた取組は今後の課題である。

佐藤委員 団体のメンバーのうち相原町、小山町、小山ヶ丘在住者が1人でもいればよいのか。

事務局 登録の条件は団体の代表者が当該地区在住で、かつ、5人以上の団体で半数以上が当該地区在住者としている。

永吉委員 資料2P.4で障がい者スポーツに「関わったことはない」が90.7%となっているが、資料3現行計画の基本施策「障がい者スポーツの活性化」は「達成」となっている。アンケート結果がすべてだとは考えないが、違和感はある。整合を図る視点から、アンケートの結果をどのように見せていくか工夫がいるのではないか。

事務局 アクションプランの達成状況とアンケート結果で整合が取れていない点は課題だと認識している。現行計画とアクションプランが連動していない点は計画の立て付けにも課題があると考えており、次期計画ではその点を意識した構成としている。

永吉委員 資料3-2の評価方法ももう少し工夫できるとよい。延べ参加者数を指標とする場合、リピーターが重複してカウントされることから、新規参加者のうち少なくとも1人が複数回参加すれば、指標としては向上していく。スポーツに関わる市民の数を正確に測る方法を工夫できるとよい。

川崎会長 事業の評価方法は今後も継続して適切な方法を検討していったほしい。また、事業の主

旨とスポーツ推進計画との関連も確認しながら実施していけるとよい。

#### (4) パブリックコメントの実施報告について

事務局が資料4について説明を行った。

永吉委員 パブリックコメントの実施報告書は公表するのか。

事務局 主な意見を整理して4月に市の広報紙で公表する予定である。

永吉委員 総花的といった表現もそのまま用いるのか。また、「障がい」「障害」も混在している。

事務局 意見は原文をそのまま用いることとしたい。

#### (5) 町田市スポーツ推進計画 19-28 アクションプラン（案）について

事務局が資料5について説明を行った。

川崎会長 アクションプランは別の冊子として作成するのか。前回は冊子になっていた。

事務局 今回は冊子にはしない。進捗を管理する表形式で公表していきたいと考えている。

宮崎委員 資料5の整理番号1-1-1の目標値は、他の指標と同様に累積値で示した方がよいのではないか。

事務局 修正する。

坂井委員 町田市のスポーツ推進委員の数が少ないという議論があったと思うが、今後のことはどのように考えているのか。

岡田委員 資料5P.2整理番号2-1-3の備考に「1地区2人を想定した規則改正を行う」とある。

事務局 現状の15名を市内10の各地区に配置するとともに、不足している地区で人員を補い、計20名とすることを目標としている。

川崎会長 まずは規則の改正から着手していくということか。

このほか、働き世代や子育て世代のスポーツ推進についても意見があったかと思うが、どこかに取組は記載されているのか。現実的には平日夜間のスポーツ環境の整備なども求められてくると思う。例えば屋外スポーツ施設の夜間照明などはあるのか。

大川委員 木曽中学校のみ、校庭に照明設備があったと思う。

川崎会長 生活に身近な場所で夜間にスポーツを行える環境は他にないということか。市として考えはあるのか。

事務局 資料5P.3整理番号3-1-5に「夜間照明設備の設置」を挙げている。具体的な場所はまだ決まっていないが、既存のスポーツ施設の夜間照明設備を設置していくことで、働き世代や子育て世代のスポーツ環境を充実していきたいと考えている。

川崎会長 近隣市では多くの学校で夜間照明設備を設置しているところもある。町田市が近隣と比較して極端に少ないということであれば対応を検討してほしい。

三村委員 基本目標3(2)の備考で「町田市内でスポーツ観戦した」という回答の割合の割りが記載されていると思うが、どのような考え方なのか。

事務局 整理番号3-2-1は総合体育館の大型映像装置の整備事業と陸上競技場観客席の増席事業となる。各施設をホームアリーナ、ホームスタジアムとするホームタウンチームのホームゲームの開催回数と集客数を掛けたものと既存の大規模大会の観客数を足しあ

げた数値を元に算出している。

整理番号 3-2-2 は小学校連合運動会の開催事業となる。現在市では全小学校から児童が集まる行事はないが、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成の取組の一環として、教育委員会が主体となって陸上競技場で実施することとなっている。来年度にプレ大会を実施するが、本大会では市内の全小学校から児童が参加し、多くの保護者も観戦に訪れることを想定している。その際にスポーツを観戦する人が増えることを見越して数値を算出している。

整理番号 3-2-3 は東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間中にパブリックビューイングを積極的に開催したいと考えている。パブリックビューイングも「町田市内でスポーツ観戦した」に含めてカウントすることを考えている。現時点で開催回数から詳細な観戦者数を割り出すことは難しいと考えているが、参加者数を想定し、全体の「0.4%UP」という数値を算出している。

大川委員 小学校の連合運動会について補足したい。現在小学校と中学校が連携して、中学校単位で小学校 6 年生を集めて、100m 走や学校対抗リレーを実施している。これを拡大して、最終的には市内全小学校を対象に実施したいと考えている。中学校は既に実施している。バスの送迎まで教育委員会の補助で実施するので、まずはプレ大会を実施する予定となっている。プレ大会は希望した学校が参加することとしている。

川崎会長 見るスポーツを推進するという視点においても、陸上競技場の観客席が埋まるような大会となるとよい。

大川委員 このほか、市内の小中学校体育館の空調設備の整備も計画されている。先ほど夜間利用の話もあったが、夏季の夜間利用等について、計画書の中に記述できるとよいのではないか。

川崎会長 計画書 P. 36 基本目標 3 の中で学校施設の活用について追記してはどうか。

事務局 身近なスポーツ環境の充実という視点で追記を検討したい。

永吉委員 計画書 P. 33 (3) 高齢者のスポーツ推進にある主な事業と指標にある 70 歳以上のスポーツをしていない人を減らすことの関連性があまりないように感じられる。また、ニュースポーツの普及啓発も重要だと思うが、高齢者のための施策としては健康づくりもキーワードになるのではないか。

事務局 整理番号 1-3-1 は健康づくりの視点も合わせて取組を推進していく。町トレ（町田を元気にするトレーニング）を推進し、地域における高齢者の自主的な活動を活発にしていくとともに、スポーツの楽しさを伝えていきたいと考えている。

永吉委員 計画書 P. 33 (3) 高齢者のスポーツ推進の中で、体操、健康づくりという文言が一つはあればイメージが伝わりやすくなるのではないか。こうしたニーズも一定程度あると考えている。

川崎会長 体操、健康づくりといった表現を加えられるとよい。

70 歳以上のスポーツ実施率をあげる、この先 5 か年のアクションプランということを見ると、現時点で 65 歳以上を対象に施策を推進していくことが重要になる。この視点も忘れずに施策を推進してほしい。

永吉委員 働き盛り世代、子育て世代への施策も主な事業と指標の関連が若干薄いように感じる。

川崎会長 もう少しアクションプランの内容が計画書本編にも記載されているとよい。

他に意見はあるか。

- 北川委員 計画書 P.33 (3) 高齢者のスポーツ推進の主な事業で、「温浴施設を活用した」とあるが、限定する意図はあるのか。
- 事務局 室内プールに新たに施設を併設する予定であり、そこを活用する事業を掲げている。場所を限定する意図はないが、新たな施設を活用していくことを主な事業の1つにあげている。
- 川崎会長 新たなスポーツ施設となるのであれば、効果的に活用していけるとよい。具体的なイメージがあるのであれば、資料5に整理番号1-3-2として追加してはどうか。
- 宮崎委員 資料5P.3整理番号3-1-4の指標も積み上げていく数値に修正できるとよい。整理番号4-1-1の目標値は10校ではなく10地区ではないか。アンケートの結果と施策の指標との関連性について、例えば、健康経営などスポーツを推進に協力する企業の数が増えても市民の実感にはつながりにくいだろう。評価の方法や対象を今後も吟味していけるとよい。
- 川崎会長 今回掲げた指標はアンケート等で数値を継続的に把握していけるものも多い。計画を推進していく中で、今回の計画の立て付けが適切かどうかを検証していけるとよい。本日の議論をもとに、計画書を取りまとめていく。計画書の策定にあたり、今後の修正は会長一任ということによいか。
- 全委員 問題ない。
- 川崎会長 それでは会長一任とし、事務局と相談のうえ、計画策定の段取りに進めていくこととする。

### 3. 事務局から

- 事務局 議事要旨を3月15日に委員に送付する。修正は3月22日までいただきたい。来年度の審議会は、年度内に1回の開催を予定している。日程等はあらためて委員に連絡する。

### 4. 閉会

以上